

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第65号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F
TEL045-633-5142 FAX045-633-5194
Email: : zan25564@nifty.com http://www.kanagawa-iguren.com

県が「中小企業活性化条例」の素案骨子を提示！

芝 忠

1月30日の**第3回「かながわ産業活性化懇話会」**で**「中小企業活性化条例(仮称)骨子(案)の概要」**が示されました。内容は、条例の目的、用語の定義、基本理念、県の責務、中小企業の努力、中小企業団体の役割、大企業の役割、大学等の役割、県民の理解と協力、市町村の役割と市町村への協力、中小企業の振興に関する指針の策定、基本的施策、施策実施上の配慮、財政上の措置、調査及び研究、受注機会の確保と拡大、中小企業振興施策の公表、などとなっています。

すでに千葉県条例などの先行例がありますので、項目的には必要なものが網羅されていますが、「懇話会」では「これではどこの地域にでも該当するので、神奈川県の特徴を「前文」で明らかにすべきだ」という意見が出されました。前日の29日、異グ連主催で開催された「2.22『神奈川における中小企業条例討議会』開催に関する相談会」では、**大都市圏と地方圏では中小企業の経営環境が異なり**、条例内容の主眼を検討すべきだ、という意見や「活性化」策という施策に近い名称ではなく、やはり「基本条例」という名称を使うべきという意見もありました。

県の提案理由の中に**「中小企業の活性化を県政の重要な課題」**として位置づけていますが、県庁の全部局がそのような理解をするにはそれなりの議論が庁内で必要です。また条例は、担当する県職員がどう受け止めるのが、課題です。従来、条例を不要としている自治体(横浜市・川崎市・京都市・東京都等)職員の考えは「時代の変化にスピーディに対応可能な個別の施策の積み上げで十分」ということですが、むしろ目まぐるしく変化する中で、確固として**「地域経済の主力は中小企業」という深い認識を「条例化」させる必要性**を、先進自治体ではいずれも挙げています。欧州の「小企業憲章」では農業問題と並んで、中小企業が国家を支える財産という考えがあるようで、日本のように大企業の下請だとか、市場競争の中で淘汰は止むを得ない、とかの考えは少ないようです。

この条例問題は自治体職員の意識変革を大いに期待しないと実現かつ実行できないと思います。

大都市圏型といっても、周辺の街には飲食店や美美容店、開業医、小売り商店など多数の零細事業者が犇(ひし)めいています。生鮮3品(野菜・肉・魚)がないと商店街は寂れるといいます。個店の経営努力は当然ですが、大都市圏の方が競争が激しく、大資本の影響力も強い。その中で消費者と事業者との繋がりを生かした経営を行うことが生き残る鉄則です。行政や地域全体でそうした努力を支援する方策の「基本指針」が条例です。個別施策は施策対象や手法が限定され、効果も限定的です。総合的、包括的な指針を決めて、実施施策は時代の変化の中でみんなの知恵を出して創り上げることとなります。その個別施策の集積で「全て良し」とするのは知恵と工夫に対する進歩の放棄です。もし施策の「進歩、改善、改良」に前向きであるならば「条例化」に反対する必要性はなく、むしろ関係部局職員(もちろん県民も含めて)の中小企業者に対する「想い」を表象するものとして「条例化」を理解すべきです。

神奈川における中小企業振興条例・討議会(兼:第32回中小企業政策研究会)**日 時: H20年02月22日(金) 13:15~17:00****場 所: 建設プラザかながわ 2Fホール 横浜市神奈川区神奈川 2-19-3 (JR東神奈川駅、または京急仲木戸駅)****内 容: 神奈川県が中小企業振興条例制定に動き始めました。振興条例は如何に有るべきかを討議いたします。****第一部 全体会議 13:15~ ①条例化作業の経過について 神奈川県商工労働部産業活性化課****②会員アンケートから 神奈川県中小企業家同友会****③条例化に対する要望について 神奈川県商工団体連合会、他****第二部 グループ別討議会 14:40~16:00 第三部 全体会議 16:10~17:00****参加費: 500円(資料代) 資料準備のため2月20日までににお申込ください。****問合せと申込: 事務局 神奈川異グ連 芝、島津俊、島津龍 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194****産学官交流サロンのコーナー****おなじみ尾上町サロン****日時: 毎月第一・三金曜日(3月07日、21日、4月04日) 会場: 神奈川中小企業センター5階異グ連事務所****連絡問合せ: 神奈川異グ連事務局芝、島津龍男、八幡、鈴木 045-633-5142 会費: 現物も大歓迎**

第12回(1月21日)西湘サロンの報告

今回は「**21世紀アジア共生時代**」に向き合う中国とのテーマで、旭東ダイカスト(株)代表取締役社長 山森一男氏にお話をいただきました。

当社は耐圧部品を得意とする、世界一流のダイカスト部品メーカーですが、部品メーカーが国際化時代の厳しい環境に遭遇しての、民事再生などの苦労話、海外工場も含めた長期ビジョンの基に構造改革を図り、中国における合弁会社が5つのグループ企業に発展し、ここ10年間 2桁成長を続けているという内容が紹介されました。活発な質疑応答があり、大変参考になる交流でした。(吉池正樹 BC)

第13回西湘サロンの開催案内

日時: 2008年3月10日(月)18:00~20:30

場所: あいおい損保小田原支社(瀬戸ビル)3F

話題: 災害に備えて雨水の生活利用

(有)明治花プロ 社長 川崎 弘氏

参加費: 1000円(ビール、おつまみ付)

申込: 島津俊、吉池、芝 tel 045-633-5142

第24回三浦半島経済人サロンの報告

ご案内の通り「**葉山朝市18年から地域の活性化を語る**」と題して、葉山マーケット朝市実行委員長 柳 新一郎氏から、今日の隆盛を招くまでのご苦労話を語って頂きました。

あわせて、横浜の朝市・夜市を仕掛けて意気軒昂な坪倉代表や、三浦朝市の土山代表からも熱い思いの発言があり、会議室は入りきれない盛況のなかで、時間不足を感じながらのお開きとなりました。(八幡異グ連常務)

第22回かわさき経済人ネットワークサロン報告

今回のテーマは「**わが社の新工場建設計画と戦略展開**」で、シンワフロンテック(株)取締役統括本部長 小林健一氏(川崎異業種研究会会長)にお話をいただきました。創業以来の経営の危機や、飛躍への転換などでの「**決断**」について紹介いただき、大変感銘を受けました。

当社は「電子回路基板技術」でフロントランナーの研究開発型企業ですが、「インベスト神奈川」の助成も活用し、13.5億円を投資して相模原に新工場を建設中です。今後の発展が期待されます。(小野川BC)

神奈川新産学交流サロン(合同)**神奈川県中小企業支援月間協賛**

日時: H20年02月19日(火)15:30~17:30 交流懇親会は18:00~20:00

会場: 野毛地区センター 3階集会室 横浜市中区野毛町3-160-4 TEL045-241-4535

参加費: 1000円(資料代) 交流会は別会場で別会費です。

内容:①**まちなかキャンパス(第一回野毛の商いと文化)を終えて今後の生かし方** 横浜商大 佐々 徹教授
②**国に認定された「地域産業資源活用事業として野毛地区」のこれから** 情報芸術研究所(株) 河内楊也社長
③**アトラクション「野毛山追分」** 横浜クラブ倶楽部会長 中島鷗舟氏

問合せ、申込: 神奈川異グ連 芝、杉本 TEL045-651-8883、FAX045-633-5194

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況**まんてんプロジェクト**

千田 JASPA 取締役

- ニュースダイジェスト社が発行する「月刊生産財マーケティング」2008年1月号の特集記事「**日の丸旅客機、離陸へ**」において、部品加工業者の挑戦の例としてまんてんプロジェクトが大きく取り上げられた。
- 1月18日、名古屋市および(財)名古屋都市産業振興公社と今後の連携に関し合会を行った。名古屋市は、POST自動車産業として航空宇宙関連産業の振興を考えており、そのキックオフの意味をこめて本年10月名古屋ポートメッセにおいて航空宇宙産地域に呼びかけて開催する中小企業が主役の初めての航空宇宙展示会を開催する。これをきっかけに、名古屋市では岐阜県などにも呼びかけ**中部地域での航空宇宙産業クラスターの形成**を計画しており、まんてんプロジェクトとの連携もすすめることとした。なお本年は東京都も独自でクラスター形成を計画している。平成16年度の事業所統計によれば、航空機・同部品製造に係る事業所数のトップは東京、二番は愛知であり、中部地域でのクラスターが形成され、愛知、岐阜、東京、神奈川が連携すれば、我が国の全事業所の50%を上回る事業所をカバーするクラスターが形成されることとなり、今後は現在12ある全国のクラスターを横連携する「**全国航空宇宙連絡協議会(仮称)**」の形成に向けて動くこととなった。まんてんプロジェクトでは東京都及び名古屋市が行政レベルでも連携することを提案していきたい。
- まんてんメンバーの水上飛行機開発事業協同組合が、ベトナムからの要請を受けて、小型機の自主開発を進めている同国との連携を考えており(財)東京都中小企業振興公社の「ベトナム展開支援」専門家サービスを受けることとなった。今後助言を受けながら検討を進めるとしている。なお、三菱重工業は我が国航空機産業界としてはじめて、ベトナムに航空機部品製造会社を作ることを昨年末に発表している。
- 1月31日、まんてんプロジェクトが羽田の全日空整備工場の見学会を実施した。

第81回定例会(1月23日)報告

高橋導徳BC

- 韓国企業紹介・・・(株)コリアワールド／韓国関係の企画など 代表取締役 李 相佑氏
1998年設立、事業内容は貿易、卸、展示会および商談会の企画、コンサルタント業務など。
輸入品＝健康食品、繊維製品、消費財、中小企業製品。 輸出品＝原副資材、機械、部品類。
- 「**韓国釜山の経済状況**」と蔚山 SBC との「**顧問契約に依る技術指導**」についての報告
・・・ プラスアルファ月岡事務所・所長 防錆管理士・ISO 主任審査員 月岡 泰夫氏
釜山は韓国第2の都市だが最近の10年間で、人口が減っている。出生率も最低で産業空洞化とあわせて経済が停滞している。アルミめっきの技術指導をすでに2回蔚山の企業に技術指導してきているが、韓国ではこの技術での製品は船舶以外には使われていない。今後日本と同様、自動車に採用される可能性が高い。
- 基調講演:「**ビールのお話＝日韓の現状**」・・・(財)日韓産業技術協力財団 部長 北林 均氏
ビールとは、から始まり定義、酒税、市場(日本・韓国・世界)、ビールの歴史、ビールを美味しく飲むにはなど、ビールに関して広範囲に亘り説明された。最近第三のビールが出てきており、今後多様化が進むだろう。

第82回日韓ビジネス協議会開催案内

日時:2月20日(水)15:00～17:00 定例会(17:15～懇親会) 場所:神奈川中小企業センタービル5階 会議室

- 日本企業の紹介／(株)市川工業・営業 高木宏昌氏 (超精密機械加工、表面処理、自動制御盤など)
- 韓国とのビジネス交流支援・・・(財)日韓産業技術協力・中小企業情報交流センター所長 讚井善郎氏
- 基調講演:**最近の日韓ビジネスについて**・・・(株)スリーテック代表取締役 久野啓一氏

連絡申込先 TEL&FAX:045-311-0094 高橋 mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

シフト21 活動状況

有村BC

2月定例会は、生活ウォッチャーの西本則子氏(元消費財メーカー 調査・R&D 企画マネージャー)から、消費財マーケティングの最前線で消費者や現場の観察から新しい商品の種を見出し、コストベネフィットのある商品を開発されてきた貴重な体験談をお伺いいたしました。顧客の『**声にならない不満**』を感じ取り、仮説をつくり、現場を見てヒアリングを重ねて『**今までに無い、これが欲しかった**』という商品開発を幾つもこなされてきた西本氏のお話は大変示唆に富んだ内容でした。3月定例会は、当会会員でコーチングオフィスアップル代表の飯田和孝氏に「**基礎コーチング入門～コミュニケーションカアップから営業力アップまで**」というテーマでお話を伺います。コーチングの考え方や基本スキルなど、ビジネスにすぐに使える内容です。

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会を開催しております(原則第二火曜日開催、場所はかながわ県民センター)。ゲストの皆様のご参加を歓迎いたします(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。(arimura-c@nifty.com)

スターリングエンジン研究会報告

八幡敬和

実機が到着したので、もう「幻のエンジン」と呼ばれることもなくなり、メンバー一同張り切っている。連携体構築に向け着々と進んでいるが、さらに幾多の課題を解決するためにも関連分野で結集する必要性を痛感し、当研究会を「NPO法人 スターリングエンジン普及協会」に組織変更する準備に入り、年内設立を目標に活動を開始することを確認した。

また今月開催のテクニカルショウ横浜 2008 の出展者セミナーで、新連携の実例として発表した。

海洋深層水を楽しむ会報告

八幡敬和

前号でご案内の通り、久しぶりに会合が開かれ、最近の海洋深層水事情を、三浦DSW(株)の芹澤社長と日本海洋深層水協会・副理事長が発表された。何より嬉しかったのは、前理事長の中島先生が韓国への出張2年間の奮闘ぶりをご披露されたことと、また海洋深層水で美味しく育った三浦大根を、会員の松輪農協から頂いたことでした。

関連イベントのおしらせや、会員からの投稿などのコーナー

第5回東京海洋大学「産学・地域連携知財フェア」

日時:H20年02月21日(木)13:00～17:00

講演:「**産学官連携戦略展開事業について**」(仮題) 文科省
「**地域活性化へ向けての海洋プラットフォームの取組み**」
東京海洋大学准教授 中村 宏氏

「**都市エリア産学官連携促進事業(函館エリア)の取組みとその後の展開**」 北海道大学特任教授 山内 皓平氏
パネルディスカッション「**地域活性と地域ネットワークについて**」
会場:東京海洋大学品川キャンパス「**楽水会館**」 参加費無料
申込:東京海洋大学知財本部 03-5463-4037

第4回海洋深層水全国フォーラム

日時:H20年02月23日(土)13:00～17:15

講演:「**海洋基本法と海洋深層水への期待**」
日本海洋深層水利用学会会長 酒匂 敏次氏
「**海洋深層水利用への想いと提言**」
NPO 日本海洋深層水協会代表理事 近磯 晴氏
海洋深層水利用のトピックス 4件事例紹介
フロアーディスカッション「**市場は何を求めるか**」
会場:(財)早稲田奉仕園「**リバティール**」
申込:実行委員会事務局045-312-1321

神奈川県産業技術センター「**環境有害物質規制の動向、対応と分析の実際**」フォーラムに参加して

異グ連会員 栗山 豪八(栗山経営事務所代表)

昨年来EU規制の電子・電気機器に含まれる有害6元素(Pb/Hg/Cd/六価Cr/PBB/PBDF)を規制するRoHS指令に日本企業は振り回されましたが、それよりも「ややこしいREACH規制」が、2007年6月1日から施行された。予備登録が1t以上必要で2008年12月1日の期限付き。発ガン物質だと18ヶ月が期限で遅れると販売禁止となる。かかる状況を踏まえ、KAST主導で昨年末PIOで5回の夜間勉強会をしましたが、中小企業社長・技術幹部で満杯でした。政府(経産省・環境省・厚生労働省)は、日本の対応審議会を準備中なるも、中小企業向けのパンフレットは用意されていない。EU化学庁も走り乍ら規制を追加してくるので未定事項もある。ここで強調したいのは、かかるフォーラムで関連中小企業は状況認識をして貰いたいということです。

論壇

歴史を学ぶ—中世という時代—

かながわ異グ連議長 南出健一

「喉もと過ぎると暑さを忘れる」人間とは悪しき生き物です。地球上に人間が存在してこの方、取返しがつかないほどの過ちを犯してきました。その度ごとに累々たる屍の前で「ひざまずき首を垂れる」歴史を繰返してきたのです。尚も懲りず世界のあちこちで強者が弱者をいたぶり続けている現実を目の当たりにして、今更ながら「人間の業」の澁み深さに愕然とするばかりです。

この国もアジア諸国を蹂躪し人々に取返しの付かない罪を犯してしまいました。そして広島・長崎の人々が大量殺戮の「実験の具」にされてから62年が経ちました。再び過ちを犯さない「平和の誓い」が宣言されるたびに人間とは、国家とは何者なのかを問いたたさずにはいられない思いに駆られています。

ご承知の通り日本は62年前の敗戦を除くと、外国から侵略されたことのない「世界でも類まれな国」でした。良くも悪くも四方を海に囲まれ「極東」の片隅にあったことが、地政学的な不可侵性を保てたといえそうです。とはいえ、日本列島の中で凄まじい殺し合いが繰返された相克の時代もあったのです。

歴史上、中世は「戦争と飢餓と宗教の時代」といわれたほど「室町政権」の無力化で、国々は乱れ、群雄割拠する豪族や小領主間の抗争が絶え間なく続き、民心も田畑も荒廃するにまかせていました。当時、いの一に犠牲になるのは民・百姓といわれていましたが、彼らは自らの身を守る自衛手段として、自治村落共同体「惣村」を組織化し侵略者に抵抗する術を持っていたのです。

つまり、無政府状態が続くほど支配される側の彼らは極めて強靱な「自由民」としての自立性を発揮しながら権力と対峙する力を持っていたともいえます。

それでも突然、襲ってくる幾多の自然災害には、何の手だても持ち合わせていませんでした。一粒の米麦すら失ってしまう惨状は、民ばかりか支配者に至るまで「飢餓」との戦いからは、逃れようもなかったのです。ひたすら神仏に縋がり祈祷を唱えるほか救われない「溺れるものは藁をも掴む」熾烈な時代でした。

芥川龍之介の名作「羅生門」でも、都大路の至る所で行き倒れた屍に群がる野犬の描写は、まさに諸行無常の乱世の凄まじさ哀しさを背景にした物語でした。

多くの民は荒廃した社会にあって、僅かな心の安寧を「南無阿彌陀仏」だけ唱えれば誰もがたちまち極楽往生できる来世に、救いを求め「念仏仏教」に帰依していきます。浄土宗「法然」の弟子であった浄土真宗開祖「親鸞」から8代目にあたる本願寺「蓮如」の親鸞の教義を伝える布教活動は、旧仏教勢力の度重なる迫害を受けました。同宗派でありながら「物乞い坊主」に成り下がった諸派との対決を経て、海民・山民・芸能民・職人等の「埒外の民」とされてきた人々への布教効果は目覚ましいものがあつたのです。

以下次号！

事務局のコーナー

神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めておりますので気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】島津 龍男 村上 嘉男 【火】八幡 敬和 児玉 英二 【水】芝 忠 杉本 明子

【木】八幡 敬和 松井 利夫 【金】芝 忠 島津 龍男 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異業種グループ連絡会議事務局
t045-633-5142 F045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> e-Mail: iguren@kanagawa-iguren.com

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当)mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 芝、八幡、島津(龍)、杉本、児玉へ